

議 長	局 長	次 長	総括主査	総括主査	課 員	担 当

第 17 回議会改革推進会議 会議記録簿

開 催 日	平成 26 年 11 月 12 日 (水)	場 所	特別会議室
開催時間	午前 10 時 00 分～午後 0 時 17 分	休憩時間	時 分～ 時 分
			時 分～ 時 分
出席委員	全 員 ・ 欠 席 名 (委員、 委員、 委員)		
その他 出席者		事務局 出席者	大森正則事務局長、嵯峨一郎次長、 長内紳悟主任

(適用・要旨)

進行：座長 八重櫻友夫議長

○案件

(1) 新年度予算要求について

- ・見直し案のとおり、常任委員会行政視察を隔年実施とし、一人あたり予算 15 万円に増額。また併せて、議会運営委員会、広聴広報特別委員会、議会改革推進会議も隔年実施とし、その他の内容についても案通りとする。

なお、隔年実施は単に予算削減を目的に行うものではなく、委員会活動の活性化を目的とするものであり、より視察効果が見込める二年スパンとすることで、視察前（問題分析→課題設定→先進事例調査→視察先決定→視察先ベンチマーク）、視察後（政策立案）の活動の充実を図っていくこととする。

また、この目的を全議員に徹底させていくとともに、予算要求にあたってはその考え方を議長から市長に対し示していくこととする。

- ・見直し案について、本日の決定を各会派持ち帰りのうえ了解を得ていただくこととする。なお、意見等があった場合は次回報告していただくこととする。
- ・常任委員会行政視察に当局職員が随行するかしないかは当局判断とする。なお、希望のあるなしにかかわらず、現状は随行依頼を当局に文書通知しているものであり、随行すべきか否かについて議長と市長との話し合いにおいて方向性を出していただくこととする。
- ・政務活動費について、現在の一人あたり月 5,000 円では都内一泊を想定した視察研修にも不足するような事態である。議会改革の一環として、今後会派活動の充実を図り、議員の資質を高める必要があることから、月 10,000 円とした増額要求を行うこととする。

なお、増額の積算根拠として、県外だけではなく県内・市内の調査活動も積極的に行う必要が生じてきたこと、また今後タブレット端末の通信費支出（2分の1程度）も想定されてくることから、倍額としたものである。

(2) かだって会議の実施について

- ・ 会議メンバーの議員入れ替えについて、企画段階から参画していただくため早めに入れ替えメンバーを決定することとする。

入れ替え方法については、各委員会選出、議席順選出、会派内希望者のどの方法がいいのか検討しなければならないことから、まずは各会派内で希望者があるかどうか確認いただき、そのうえで方法を決定する。

(3) 議会活動の検証について

- ・ 検証シートについて、時期を見て全議員に進捗報告することとする。

- ・ シート中の「議員定数のあり方」「議員報酬等のあり方」の進め方として、定数報酬等研究部会報告書や本日の他市比較資料を踏まえ、推進会議としての結論を出し、その結論を議員全員協議会で賛否をとったうえで、来年1月の議会報告会で市民説明することとする。

なお、次回の会議では、その結論を導くため、減らす増やすではなく、こういう考えであるから現定数が必要であるという理由づけを個々で考えてきていただきたい。